

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップ南あわじ		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年 1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年 1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設の立地・農地の隣接した敷地の広さ	自然の中で生き物とふれあい、四季折々の季節感を身につけられる支援。普段からご近所散策等を支援に加えている。	動きの速い活発な子供たちにスタッフがついていけない。若いスタッフの雇用を考え、安全性の向上を図る。
2	社会性を重要視した支援	ご近所散策での村人との交流、様々な遊びの中でそれぞれのルールを把握し、守ることで楽しくみんなと遊べることを学べる支援。運動用具を増やし、支援のマンネリ化の解消を目指している。	個々の支援スタッフが様々な遊びにアンテナをはり、良いものはその都度支援に加える。
3	もち米の田植え、稲刈り、お餅つきのイベントを主催し、保護者や地域住民との交流の機会にしている。	食育の観点から子供たちに手伝って貰っています。出来るだけ多くの保護者への参加を呼びかけていますが、なかなか思う様に参加頂けていないのが現状です。	開催する曜日を保護者も参加しやすい曜日に設定し、開催日の一カ月前から保護者への告知活動をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	主催イベントや避難訓練の周知など保護者への告知活動が不十分である。	保護者のイベント参加が少ない。	イベントの告知活動を一カ月前から始められるようにする。
2	活動プログラムの立案に参加出来ているスタッフが限られている。	立案段階で支援者会議を開けていない。	支援者会議の定例化を図る。立案に支援スタッフの参加を呼び掛ける。
3	保育所や認定こども園との交流、地域の子供達と活動する機会が少ない。	年に一度のお餅つきの際に地域の子供達を招き、交流の機会にしているにとどまっている。	子供達と参加できる地域のイベントなどに参加を試みる。